

インターンシップを受け入れました

令和4年10月25日
(独)家畜改良センター
熊本牧場

熊本牧場では、8月に千葉科学大学1名、9月に東海大学2名のインターンシップを、それぞれ5日間受け入れました。

当センターの概要説明後、肉用牛改良業務、飼料生産業務、飼料作物種子の増殖業務、種子検定業務について、それぞれ希望された業務における説明や作業体験をしてもらいました。

学生からは、子牛の年間生産頭数や飼料自給率向上のための課題など、多くの質問がありました。

参加された学生のみなさんは、新型コロナウイルスの影響によって様々な制約を受けながら学校生活を送られていることと思いますが、是非この経験を糧にして、今後の日本の畜産等で活躍する人材として大きく羽ばたくことを願っています。

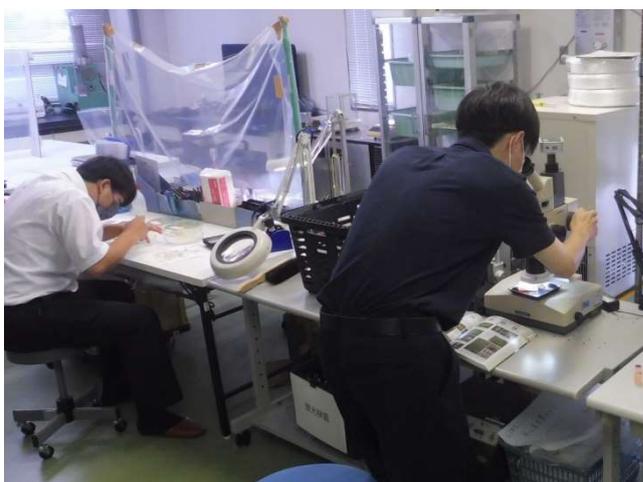
※インターンシップの受け入れについて

家畜改良センターでは毎年、本所の各部、各牧場において、原則として7月から11月までのうち1週間から1ヶ月の間受け入れます。

詳しくはHPをご覧ください <http://www.nlbc.go.jp/saiyo/internship/index.html>



(繁殖牛管理に関する実習の様子)



(種子の検定業務実習の様子)



(農機具整備作業実習の様子)



(飼料作物種子増殖業務の説明の様子)